

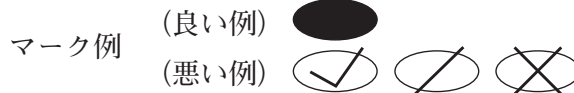
令和4年度（令和3年度実施）  
高知県公立学校教員採用候補者選考審査  
筆記審査（専門教養）

中学校 高等学校 特別支援学校 中学部・高等部  
家庭

受審番号		氏 名	
------	--	-----	--

**【注意事項】**

- 1 審査開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
- 2 解答用紙（マークシート）は2枚あります。切り離さないでください。
- 3 解答用紙（マークシート）は、2枚それぞれに下記に従って記入してください。  
○ 記入は、HBの鉛筆を使用し、該当する○の枠からはみ出さないよう丁寧にマークしてください。



- 訂正する場合は、消しゴムで完全に消してください。
- 氏名、受審する教科・科目、受審種別、受審番号を、該当する欄に記入してください。

また、併せて、右の例に従って、受審番号をマークしてください。

受 審 番 号				
万	千	百	十	一
1	2	3	4	5
○	○	○	○	○
●	○	○	○	○
○	●	○	○	○
○	○	●	○	○
○	○	○	●	○
○	○	○	○	●

記入例

(受審番号12345の場合)

- 4 この問題は、【共通問題】、及び【選択問題 中学校】、【選択問題 高等学校】、【選択問題 特別支援学校】の各問題から構成されています。選択問題で受審種別以外の問題を選択して解答した場合、解答は全て無効となります。

- 5 解答は、解答用紙（マークシート）の解答欄をマークしてください。例えば、解答記号 ア と表示のある問いに対してbと解答する場合は、下の（例）のようにアの解答欄の○bをマークしてください。

(例)

ア	a	●	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

なお、一つの解答欄に対して、二つ以上マークしないでください。

- 6 筆記審査（専門教養）が終了した後、解答用紙（マークシート）のみ回収します。監督者から指示があれば、この問題冊子を、各自、持ち帰ってください。



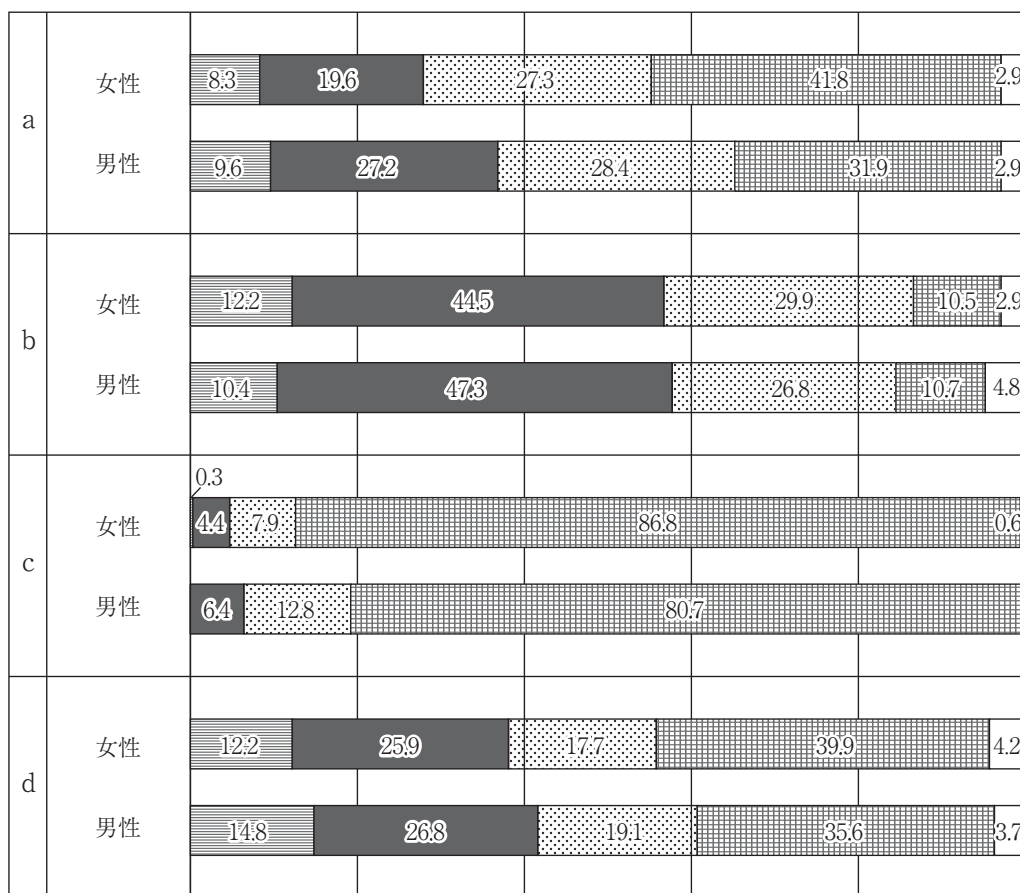
## 【共通問題】

第1問 家族・家庭生活，保育，福祉に関する各問いに答えなさい。

1 家族・家庭生活に関する (1)・(2) の問いに答えなさい。

(1) 次の図は、「夫は外で働き，妻は家庭を守るべきである」といった考え方についての4か国比較を示したものである。このうち，日本の結果を示しているものを，下のa～dから一つ選びなさい。  ア

※4か国は，日本，フランス，イギリス，スウェーデンとする。



(単位%)

賛成
  どちらかといえば賛成
  どちらかといえば反対
  反対
  わからない

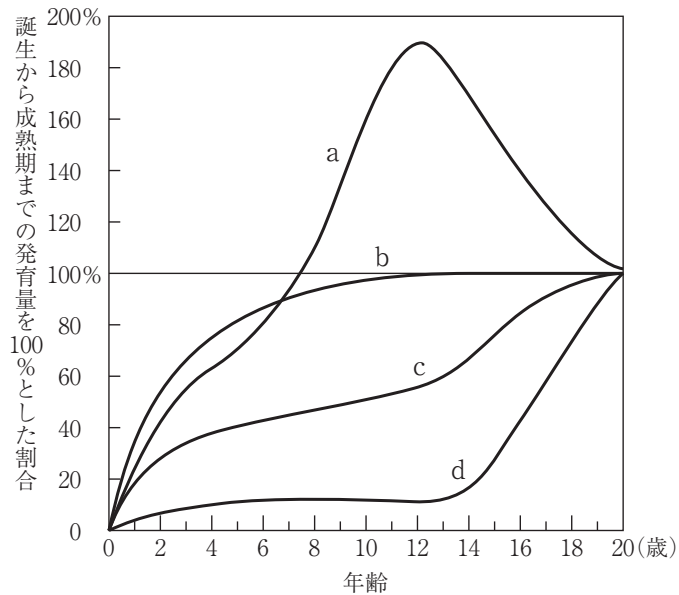
「夫は外で働き，妻は家庭を守るべきである」といった考え方についての4か国比較  
(内閣府「平成27年度 少子化社会に関する国際意識調査」より作成)

(2) 1994年の「国際人口開発会議」において提唱された、「女性の健康」という視点から女性の性と生殖にかかわるすべてをとらえ直す新しい概念に該当する語句として適切なものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a リプロダクティブ・ヘルス／ライツ
- b ネウボラ
- c QOL (クオリティ オブ ライフ)
- d ダイバーシティ
- e ジェンダー

2 保育に関する (1)・(2) の問いに答えなさい。

(1) 次の図は、スキヤモンの発育・発達曲線である。「神経系型」を示しているものを、図中の a～d から一つ選びなさい。



(2) 次の①～④は子どもの手指の運動を示したものである。発達の順序として適切なものを、下の a～e から一つ選びなさい。

- ① ものを熊手形でつかむ
- ② 親指と人さし指でつかむ
- ③ はさみを使って紙を切る
- ④ がらがらを握る

- a ④→①→②→③
- b ④→②→①→③
- c ④→③→②→①
- d ③→①→②→④
- e ③→②→①→④

## 3 福祉に関する (1) ~ (3) の問いに答えなさい。

(1) 次の説明文に該当する語句として適切なものを、下の a ~ e から一つ選びなさい。

オ

福祉六法に定める援護、育成又は更生の措置に関する事務を司る第一線の社会福祉行政機関である。都道府県及び市（特別区を含む。）は設置が義務付けられており、町村は任意で設置することができる。

- a 地域包括支援センター
- b 介護老人保健施設
- c 全国健康保険協会
- d 社会福祉協議会
- e 福祉事務所

(2) 次の説明文に該当する語句として適切なものを、下の a ~ e から一つ選びなさい。

カ

年齢や成長の度合いに見合わない重い責任や負担を負って、本来、大人が担うような家族の介護や世話をすることで、自らの育ちや教育に影響を及ぼしている18歳未満の子どものことをいう。

- a 認知症サポーター
- b 介護予防サポーター
- c ホームヘルパー
- d ヤングケアラー
- e ガイドヘルパー

(3) 次の説明文に該当する語句として適切なものを、下の a ~ e から一つ選びなさい。

キ

高齢期に生理的予備能が低下することでストレスに対する脆弱性が亢進し、生活機能障害、要介護状態、死亡などの転帰に陥りやすい状態で、筋力の低下により動作の俊敏性が失われて転倒しやすくなるような身体的問題のみならず、認知機能障害やうつなどの精神・心理的問題、独居や経済的困窮などの社会的問題を含む概念のことをいう。

- a サルコペニア
- b ロコモティブシンドローム
- c レジリエンス
- d フレイル
- e ジェロントロジー

第2問 食生活, 栄養, 食品・調理に関する各問いに答えなさい。

1 食生活に関する (1) ~ (3) の問いに答えなさい。

(1) 生活習慣と健康に関する内容として適切なものを, 次の a ~ e から一つ選びなさい。

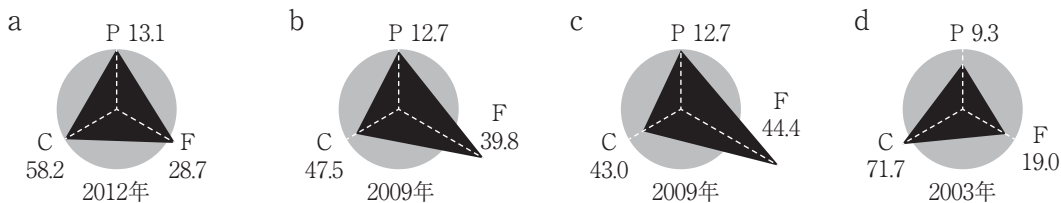
- a エネルギー消費 (運動) がエネルギー摂取 (食事) よりも多いと肥満につながる。
- b 生体リズムの乱れは, 体調には影響しない。
- c 朝食を欠食すると, 新たな栄養素が摂取されないため, 代謝が行われず, 集中力や記憶力が向上する。
- d 朝食を欠食すると, 胃や腸が動き出し, 排便が促進される。
- e 人間の成長や脂肪燃焼に関わる成長ホルモンは, 眠りについてすぐの深い眠りのときに最も多く分泌されるため, 早寝によって成長が促進される。

(2) 身長157cm, 体重51kgの成人のBMI値に該当するWHO (世界保健機関) の判定基準として適切なものを, 次の a ~ e から一つ選びなさい。

WHOの判定基準		
	判定	BMI値
a	痩せすぎ	16未満
b	痩せ・痩せぎみ	16.00~18.49以下
c	普通体重	18.50~24.99以下
d	前肥満	25.00~29.99以下
e	肥満	30以上

(3) 次の図は, PFC供給熱量比率の国際比較を示したものである。このうち, 日本の結果を示しているものを, 次の a ~ d から一つ選びなさい。

※4か国は, 日本, タイ, アメリカ, フランスとする。



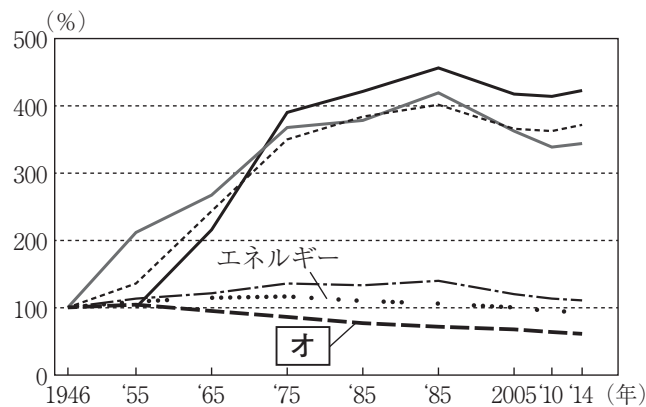
(農林水産省「食料需給表」, FAO「Food Balance Sheets」等を基に農林水産省で試算)

## 2 栄養に関する (1) ~ (3) の問いに答えなさい。

(1) ビタミンの特徴として適切なものを、次の a ~ e から一つ選びなさい。

**エ**

- a 脂溶性ビタミンは、調理による損失が大きく、体内に貯蔵できない。
- b 緑黄色野菜とは、カロテンを可食部100gあたり1000 $\mu$ g以上含む野菜の総称である。
- c いも類に含まれるビタミンCは、貯蔵や熱による損失が野菜類よりも少ない。
- d ナイアシンは、血液の凝固に関係する。
- e ビタミンB<sub>1</sub>は、体内の脂質の酸化防止に関係する。

(2) 次の図は、「栄養素等摂取量の年次推移」を示したものである。図中の **オ** に該当するものを、下の a ~ e から一つ選びなさい。 **オ**

(注) 動物性脂質は1955年、それ以外は1946年を100とする。  
(厚生労働省「国民健康・栄養調査」より作成)

- a 動物性脂質
- b 動物性たんぱく質
- c 脂質総量
- d たんぱく質総量
- e 炭水化物

(3) 「日本人の食事摂取基準」の改定に関する説明として適切なものを、次の a ~ e から一つ選びなさい。 **カ**

- a 厚生労働大臣が定めるもので、5年毎に改定を行っている。
- b 厚生労働大臣が定めるもので、10年毎に改定を行っている。
- c 内閣府が定めるもので、10年毎に改定を行っている。
- d 農林水産大臣が定めるもので、5年毎に改定を行っている。
- e 農林水産大臣が定めるもので、10年毎に改定を行っている。



## 3 食品・調理に関する (1) ~ (3) の問いに答えなさい。

(1) 乳・乳製品の種類と加工方法の組み合わせとして適切なものを、次の a ~ e から一つ選びなさい。

- a 生乳を殺菌し、発酵・凝固したものがバターである。
- b 生乳を殺菌し、濃縮したものが乳飲料である。
- c 生乳を殺菌、遠心分離し、クリームにしたものを攪拌したものがヨーグルトである。
- d 生乳を殺菌、遠心分離し、脱脂乳にしたものを発酵したものが脱脂粉乳である。
- e 生乳を殺菌したものが牛乳である。

(2) きゅうりの酢の物（2人分）を調理する際の砂糖の分量として適切なものを、次の a ~ e から一つ選びなさい。ただし、1人分のきゅうりは可食部30g、糖分はきゅうりの5%とする。

- a 小さじ1/2
- b 小さじ1
- c 小さじ1/4
- d 小さじ2
- e 大さじ1

(3) 次の説明文に該当する語句として適切なものを、下の a ~ e から一つ選びなさい。

脂質の構成成分の一つで、天然の食品中に含まれているものと、油脂を加工・精製する工程で生成されるものがある。マーガリン、ファットスプレッド、ショートニングや、それらを原材料に使ったパン、ケーキ、ドーナツなどの洋菓子、揚げ物などに含まれていることがある。日常的に多く取りすぎると心臓病のリスクが高まるとされている。

- a LDLコレステロール
- b HDLコレステロール
- c IPA（イコサペンタエン酸）
- d トランス脂肪酸
- e アラキドン酸

第3問 衣生活，住生活に関する各問いに答えなさい。

1 衣生活に関する(1)～(5)の問いに答えなさい。

(1) 日本人成人女性の既製のサイズ表示「9AR」に該当するものとして適切なものを，次のa～eから一つ選びなさい。

	バスト	体型区分	身長
a	83cm	標準体型	158cm
b	86cm	標準体型よりも ヒップが4cm大きい体型	158cm
c	83cm	標準体型	150cm
d	83cm	標準体型よりも ヒップが4cm大きい体型	166cm
e	86cm	標準体型	150cm

(JISによる「基本身体寸法」)

(2) 被服材料の性能改善のための加工例の組み合わせとして適切なものを，次のa～eから一つ選びなさい。

	加工の種類	付与される性能	用途
a	シルケット加工	光沢や接触感がよい。	ブラウス，ワンピース
b	防炎加工	着火しにくい。燃え広がりにくい。	スポーツウェア
c	ウォッシュアンド ウェア加工	水を吸いやすい。	スポーツウェア
d	パーマネント・プレス 加工	濡れても縮まない	ワイシャツ，ブラウス
e	透湿防水加工	水蒸気は通すが水をはじき， 濡れない。	ブラウス，ワンピース

(3) 洗剤で汚れの落ちる仕組みについて，界面活性剤の作用の順序として適切なものを，次のa～eから一つ選びなさい。

- a 乳化作用 → 浸透作用 → 分散作用 → 再付着防止作用  
 b 乳化作用 → 分散作用 → 浸透作用 → 再付着防止作用  
 c 浸透作用 → 乳化作用 → 再付着防止作用 → 分散作用  
 d 浸透作用 → 乳化作用 → 分散作用 → 再付着防止作用  
 e 浸透作用 → 分散作用 → 再付着防止作用 → 乳化作用

- (4) しみ抜きの方法について、しみ・よごれの種類と処理方法の組み合わせとして適切なものを、次の a～e から一つ選びなさい。

	しみ・よごれの種類	処理方法
a	しょうゆ	しみに白い布をあて、しみの表側からかたく絞った布で垂直にたたく。落ちなければ漂白剤で漂白する。
b	チョコレート	しみに白い布をあて、しみの裏側からかたく絞った布で垂直にたたく。落ちなければ洗剤液をつけてたたく。
c	墨	しみに歯磨き粉をつけ、しみの裏側からかたく絞った布で垂直にたたく。
d	チューインガム	温かいお湯をかけ、柔らかくしてからつめではがし、ベンジンをつけた歯ブラシでたたく。
e	口紅	しみに白い布をあて、しみの裏側からベンジンなどで垂直にたたく。落ちなければ洗剤液をつけてたたく。

- (5) 被服の平面構成、立体構成に関する説明として適切なものを、次の a～e から一つ選びなさい。

- a 和服は立体構成の被服である。
- b 立体構成はゆとりが多く、様々な体型に対応しやすい。
- c 浴衣やはっぴは平面構成の被服である。
- d 平面構成の被服は、形崩れしないように収納のスペースを比較的多く取る。
- e 平面構成は、着用者の体型に合わせて作るので、活動しやすい。

## 2 住生活に関する (1) ~ (3) の問いに答えなさい。

- (1) 健康被害を引き起こす化学物質とその主な発生源の組み合わせとして適切なものを、次の a ~ e から一つ選びなさい。

	化学物質	主な発生源
a	トルエン	殺虫スプレー, ヘアスプレー
b	テトラクロロエチレン	防虫剤, 防臭剤
c	パラジクロロベンゼン	ラッカー, 塗料
d	ホルムアルデヒド	接着剤, 防カビ剤
e	塩化メチル	ドライクリーニング溶剤, しみ落とし剤

- (2) 免震構造に関する説明として適切なものを、次の a ~ e から一つ選びなさい。

- a 建物の柱・梁・壁などに装置を組み込み、建物に伝わった地震の揺れを吸収する構造
- b 建物と基礎の間に装置を設置し、地盤と切り離すことで、建物に地震の揺れを直接伝えない構造
- c 地震の力に対し、主に壁の強度を上げて耐える構造
- d 壁部分に「筋交い」と呼ばれる柱と柱の間に斜めに木材を設置することにより、地震等の横からの荷重に耐える構造
- e 地震の力により伸び縮みする建物を鉄筋が持つ引張力とコンクリートが持つ圧縮力が支える構造

- (3) 照明器具の名称と特徴の組み合わせとして適切なものを、次の a ~ e から一つ選びなさい。

	照明器具の名称	特徴
a	シーリングライト	 コードやチェーンで天井からつり下げる照明器具
b	ペンダントライト	 灯火を支持するための2本以上の腕木を有し、洋間の天井からつり下げられる装飾的な照明器具
c	シャンデリア	 床の上に立てて用いる照明器具
d	フロアスタンド	 天井に直接取り付ける照明器具
e	ブラケット	 壁に取り付ける照明器具

## 第4問 消費生活・環境に関する各問いに答えなさい。

## 1 商品の購入・契約に関する (1) ~ (4) の問いに答えなさい。

(1) 次の文は、インターネットによる消費者トラブルへの対処法について述べたものである。正しい説明の組み合わせとして適切なものを、下の a ~ e から一つ選びなさい。

- ① 身に覚えのない請求を受けても、いわれるままに支払わない。
- ② インターネット上の店はすべてサイト管理者が確認しているので、キャンセル・返品条件、利用規約の確認はしなくてもよい。
- ③ 支払い後のトラブルでも、各地の消費生活センターに相談するとよい。
- ④ URLがあるので、所在地や連絡先など、事業者の情報は確認しなくてよい。
- ⑤ 取引の安全性を確保するため、売り手と買い手の間の代金支払いや商品受け渡しを仲介する、エスクローサービスを利用する方法もある。

- a ①③
- b ③⑤
- c ②③④
- d ③④⑤
- e ①③⑤

(2) クレジットカードの説明として適切でないものを、次の a ~ e から一つ選びなさい。

- a 自分の身分や支払い能力を証明することで発行されるため、IDカードとしての性質もある。
- b クレジットカードは、消費者と販売者、クレジット会社による三者間契約である。
- c 一括や分割での後払いが利用できる。
- d 販売会社が立て替え払いを行っている。
- e 紛失や盗難、フィッシングやスキミングなど悪用される危険性もある。

(3) 次の説明文に該当する語句として適切なものを、下の a～d から一つ選びなさい。

ウ

インターネット上で流通する通貨のような機能を持つ電子データであり、法定通貨とは異なり、価値は相場で変動する。資金決済法の改正（令和2年5月1日施行）により、法令上、「暗号資産」へ呼称変更された。

- a 電子マネー
- b メールリンク決済
- c 仮想通貨
- d キャリア決済

(4) 金融商品とその特徴の組み合わせとして適切なものを、次の a～e から一つ選びなさい。 エ

	金融商品	特徴
a	預貯金	元本保証があり、取り扱い金融機関が経営破綻に陥ったとしても一定範囲で保護される。
b	保険	購入後一定の利息を受け取り、満期日に額面全額が払い戻されるため、発行から満期まで保有すると元本割れしない。
c	株式	地方公共団体、民間企業などが必要な資金を借り入れるために発行する有価証券。
d	債権	資金を出資している証明として、発行されるものであり、出資した資金は会社が存続する限り払い戻されない。
e	投資信託	将来性のある企業、よい商品やサービスを提供する企業を支援することによって利益を得ることを意味しており、自分の資産形成にとっても意義がある。

## 2 消費者行政に関する (1) ~ (3) の問いに答えなさい。

(1) 次の説明文に該当する語句として適切なものを、下の a ~ e から一つ選びなさい。

オ

基本理念として、「消費生活に関する知識を修得し、これを適切な行動に結び付けることができる実践的な能力が育まれること」および「消費者が消費者市民社会を構成する一員として主体的に消費者市民社会の形成に参画し、その発展に寄与することができるよう、その育成を積極的に支援すること」等を定めたもので、2012年8月に成立した。

- a 消費者基本法
- b 消費者基本計画
- c 消費者保護基本法
- d 消費者教育推進計画
- e 消費者教育推進法

(2) 次の説明文に該当する語句として適切なものを、下の a ~ e から一つ選びなさい。

カ

消費生活に関する情報の収集・提供、苦情相談、商品テストや調査研究などを行う、消費者に対する啓蒙・教育などの中核機関。

- a 国民生活センター
- b 消費生活センター
- c 国際消費者機構
- d 消費者庁
- e 消費者委員会

(3) 次の行動例のように消費者が守られる権利として適切なものを、下の a ~ e から一つ選びなさい。 キ

公園の遊具の使用に危険性があったので地方自治体に連絡したら、安全なものに改善された。

- a 安全が確保される権利
- b 意見が反映される権利
- c 被害が救済される権利
- d 情報が提供される権利
- e 選択の機会が確保される権利

特別支援学校の受審者は、22の20へ進んでください。

## 3 持続可能な社会の構築に関する (1) ~ (4) の問いに答えなさい。

(1) 次の説明文に該当する語句として適切なものを、下の a ~ e から一つ選びなさい。

ク

雇用機会、労働時間、賃金という3つの要素の組み合わせを変化させることを通じて、一定の雇用量を、より多くの労働者の間で分かち合うことを意味する。

- a ワークেশョン
- b ディーセント・ワーク
- c ワーク・ライフ・バランス
- d ワークシェアリング
- e ワークルール

(2) 次の説明文に該当する語句として適切なものを、下の a ~ e から一つ選びなさい。

ケ

国民の健康の保護が最も重要であるという基本的認識の下、規制や指導等のリスク管理を行う関係行政機関から独立して、科学的知見に基づき客観的かつ中立公正にリスク評価を行う機関。

- a 食品安全委員会
- b 安全衛生委員会
- c 経済環境委員会
- d 科学委員会
- e コーデックス委員会

(3) 次の説明文に該当する語句として適切なものを、下の a ~ e から一つ選びなさい。

コ

外皮の断熱性能等を大幅に向上させるとともに、高効率な設備システムの導入により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギーを実現した上で、再生可能エネルギーを導入することにより、年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した住宅。

- a サーマルリサイクル
- b エコマテリアル
- c ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス
- d コンバージョン
- e スケルトン・インフィル方式



(4) 社会保障制度に関する説明として適切なものを，次の a～e から一つ選びなさい。

サ

- a 公的扶助とは，障害者，母子家庭など社会生活を送る上で，様々なハンディキャップを負っている人々が，それを克服し安心して社会生活を営めるよう，公的な支援を行う制度である。
- b 社会保険は，生活に困窮する人々に対して最低限度の生活を保障し，自立を助けようとする制度である。
- c 生活保護制度は，主に失業に際して給付を行うものである。
- d 社会保障制度は，我々の生活を守るセーフティネットの機能を持っている。
- e 社会保険，社会福祉，公的扶助の3つを総称したものを社会保障制度という。

## 【選択問題 中学校】

第5問 学習指導要領に関する問いに答えなさい。

次は、中学校学習指導要領解説 技術・家庭編（平成29年7月）第2章 技術・家庭科の目標及び内容 第3節 家庭分野の目標及び内容 3 家庭分野の内容のA～Cを示している。中学校技術・家庭 家庭分野 の指導事項及び内容の取扱いとして適切でないものを、それぞれ下のa～eから一つずつ選びなさい。

A 家族・家庭生活 

- a 自分の成長と家族や家庭生活との関わりが分かり、家族・家庭の基本的な機能について理解するとともに、家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付くこと。
- b 幼児の発達と生活の特徴が分かり、子供が育つ環境としての家族の役割について理解すること。
- c 幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解すること。
- d 家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることが分かり、高齢者など地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者との関わり方について理解すること。
- e 高齢者の自立生活を支えるために、家庭や地域及び社会の果たす役割の重要性について考察すること。

## B 衣食住の生活

①食生活 

- a 生活の中で食事が果たす役割について理解すること。
- b 栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的な特質について理解すること。
- c おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について理解し、目的に応じた調理に必要な技能を身に付けること。
- d 日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解し、適切にできること。
- e 地域の食文化について理解し、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできること。

②衣生活 

- a 製作する物に適した材料や縫い方について理解し，用具を安全に取り扱い，製作が適切にできること。
- b 衣服と社会生活との関わりが分かり，目的に応じた着用，個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解すること。
- c 日本の伝統的な衣服である和服について触れること。また，和服の基本的な着装を扱うこともできること。
- d 被服材料，被服構成及び被服衛生について理解し，被服の計画・管理に必要な技能を身に付けること。
- e 資源や環境に配慮し，生活を豊かにするために布を用いた物の製作計画を考え，製作を工夫すること。

③住生活 

- a 住まいの主な働きが分かり，季節の変化に合わせた生活の大切さや住まい方について理解すること。
- b 家族の生活と住空間との関わりが分かり，住居の基本的な機能について理解すること。
- c 家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解すること。
- d 簡単な図などによる住空間の構想を扱うこと。
- e 自然災害に備えた住空間の整え方についても扱うこと。

C 消費生活・環境 

- a 購入方法や支払い方法の特徴が分かり，計画的な金銭管理の必要性について理解すること。
- b 買物の仕組みや消費者の役割が分かり，物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解すること。
- c 物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え，工夫すること。
- d 消費者の基本的な権利と責任，自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解すること。
- e 自分や家族の消費生活の中から問題を見いだして課題を設定し，その解決に向けて環境に配慮した消費生活を考え，計画を立てて実践できること。

## 【選択問題 高等学校】

第5問 学習指導要領に関する問いに答えなさい。

高等学校学習指導要領解説 家庭編（平成30年7月） 第1章 総説 第3節 家庭科の目標（3）に関するものである。□ア□～□オ□に該当する語句として適切なものを、それぞれ下のa～eから一つずつ選びなさい。

(3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

(3)の目標では、家庭科の学びを通じて、よりよい社会の構築に向けて、様々な人々と協働して生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養うことを明確にしたものである。

**様々な人々と協働し**とは、年齢や障害の有無に関わらず、様々な人々と力を合わせて協働し、社会の一員として主体的に行動することを意味している。

**よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとする**とは、個人や地域社会がどのような役割を果たし、つながっていけばよいかについて考え、主体的に地域社会に関わっていくことが重要であることを意味している。さらに、参画しようとすることで、生活課題の解決だけでなく、□ア□、人の成長など精神面にも大きく影響することを意味している。

**自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度**とは、学習で得たものを実際の生活に活用しようとする態度であり、生活の各場面で問題を見だし、課題を設定し、その解決を図りながら、家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てることを示している。このように家庭科では、知識・技能の習得のみではなく、□イ□や問題解決をも含めた資質・能力の育成を目指している。

以上のように、高等学校家庭科では、自己及び家族の□ウ□と生活の営みに必要な知識と技能を、小学校家庭科、中学校技術・家庭科の上に積み重ねて習得し、生活をよりよくするために主体的に実践できるよう資質・能力を育成することを目指している。そのため、社会との関わりの中で営まれる家庭生活や地域の生活への関心を高め、生涯を見通して生活を創造する主体としての視点が重要となることから、持続可能な社会の構築を目指し、グローバルな視点に立って□エ□を見つめ、なぜそうするのか、どうしたらよいかという課題意識をもつとともに、実践的・体験的な学習活動を通して家族・家庭、衣食住、消費や環境など家庭生活の様々な事象の□オ□を科学的に理解すること、及び、それらに関わる知識と技能を実際の生活上の□イ□や問題解決に生かし、男女が協力して、家庭や地域の生活を主体的に創造する資質・能力を育成することが大切である。

- |   |                                       |                              |
|---|---------------------------------------|------------------------------|
| ア | a 家庭生活と地域との関わり<br>c 家族と協力<br>e 心のつながり | b 互いの立場や役割<br>d 家族や地域の人々との協働 |
| イ | a 創意工夫<br>c 意思決定<br>e 問題発見            | b 課題設定<br>d 計画・立案            |
| ウ | a 成長<br>c ライフスタイル<br>e 日常生活           | b ライフステージ<br>d 発達            |
| エ | a 生活の現状<br>c 日常生活<br>e 地域の生活          | b 身近な生活<br>d 生活文化            |
| オ | a 仕組み<br>c 本質<br>e 根拠                 | b 原理・原則<br>d 原因              |

## 【選択問題 特別支援学校】

## 第5問

- 1 特別支援学校の対象となる障害の程度は、学校教育法施行令（昭和28年政令第340号）第22条の3で、次の表のとおり定められている。それぞれの障害の程度について、～に該当する語句を、それぞれ下のa～dから一つ選びなさい。

区 分	障 害 の 程 度
視覚障害者	両眼の視力がおおむね <input type="text" value="ア"/> 未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によつても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴覚障害者	両耳の聴力レベルがおおむね <input type="text" value="イ"/> デシベル以上のもののうち、補聴器等の使用によつても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
知的障害者	一 知的発達が遅滞があり、他人との意思疎通が困難で日常生活を営むのに頻繁に援助を必要とする程度のもの 二 知的発達遅滞の程度が前号に掲げる程度に達しないものうち、 <input type="text" value="ウ"/> への適応が著しく困難なもの
肢体不自由者	一 肢体不自由の状態が補装具の使用によつても歩行、筆記等日常生活における <input type="text" value="エ"/> が不可能又は困難な程度のもの 二 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病弱者	一 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は <input type="text" value="オ"/> を必要とする程度のもの 二 身体虚弱の状態が継続して <input type="text" value="オ"/> を必要とする程度のもの

a 0.1    b 0.2    c 0.3    d 0.4

a 50    b 60    c 70    d 80

a 家庭生活                      b 学校生活                      c 社会生活  
d 職業生活

a 連続的な動作    b 初歩的な動作    c 基本的な動作  
d 目的的な動作

a 生活規制                      b 運動規制                      c 生活の管理  
d 体調の管理

- 2 次の文は、中央教育審議会（答申）『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（令和3年1月26日）の「第Ⅱ部 各論 4. 新時代の特別支援教育の在り方について」の一部である。文中の  ～  に該当する語句を、それぞれ下の a～d から一つ選びなさい。

(4) 関係機関の連携強化による切れ目ない支援の充実

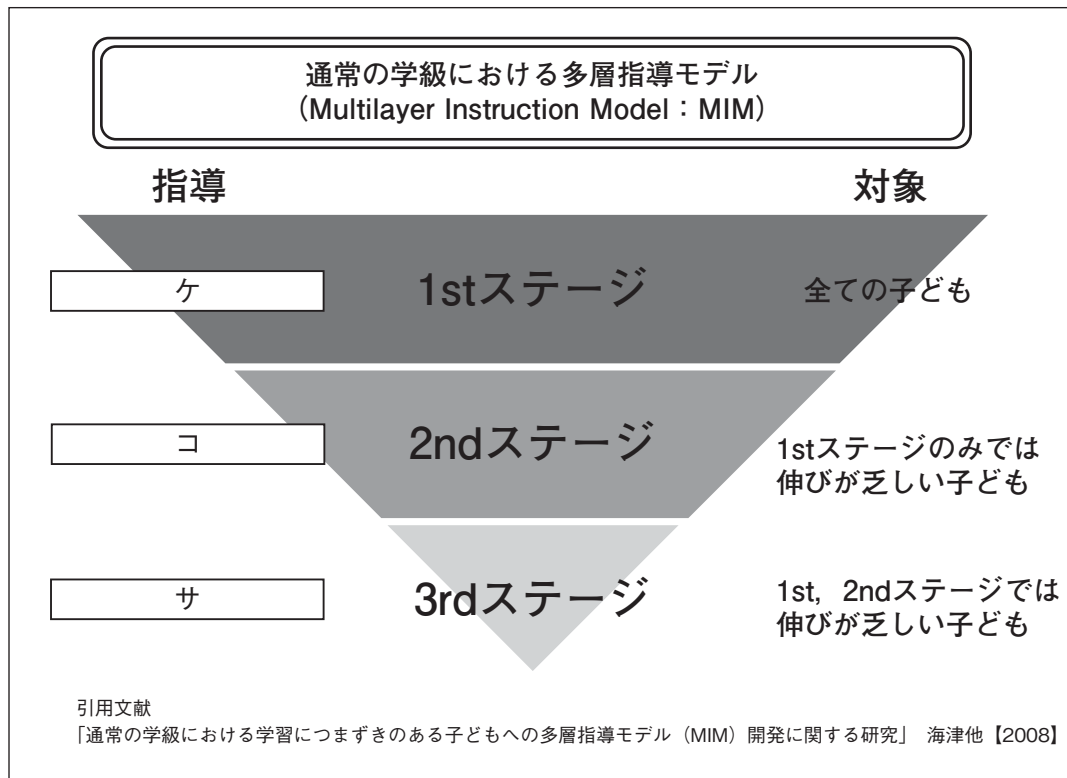
○特別支援学校におけるキャリア教育では、学校で学ぶことと  との接続を意識させ、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育み、キャリア発達を促すことが重要である。そのため、早期からのキャリア教育では、保護者や身近な教師以外の大人とのコミュニケーションの機会や、 を高める経験、産業構造や進路を巡る環境の変化等の現代社会に即した情報等について理解を促すような活動が自己のキャリア発達を促す上で重要であることから、その実施に当たっては、地域の  関係機関との連携等による機会の確保の充実が必要である。

a 家庭      b 福祉      c 社会      d 企業

a 倫理観      b 自己肯定感      c 生活能力      d メタ認知能力

a 医療      b 就労      c 保健      d 福祉

- 3 高知県教育委員会で作成した『すべての子どもが「分かる」「できる」授業づくりガイドブック』（平成25年3月）において、次の図は、通常の学級における多層指導モデルとして示されている。図の  ～  に当てはまる語句を、下の a～d から一つずつ選びなさい。



- a 通常の学級内での補足的な指導
- b 補足的・集中的・柔軟な形態によるサービスの指導
- c 通常の学級内での効果的な指導
- d 補足的・集中的・柔軟な形態による特化した指導



